

こども家庭庁資料

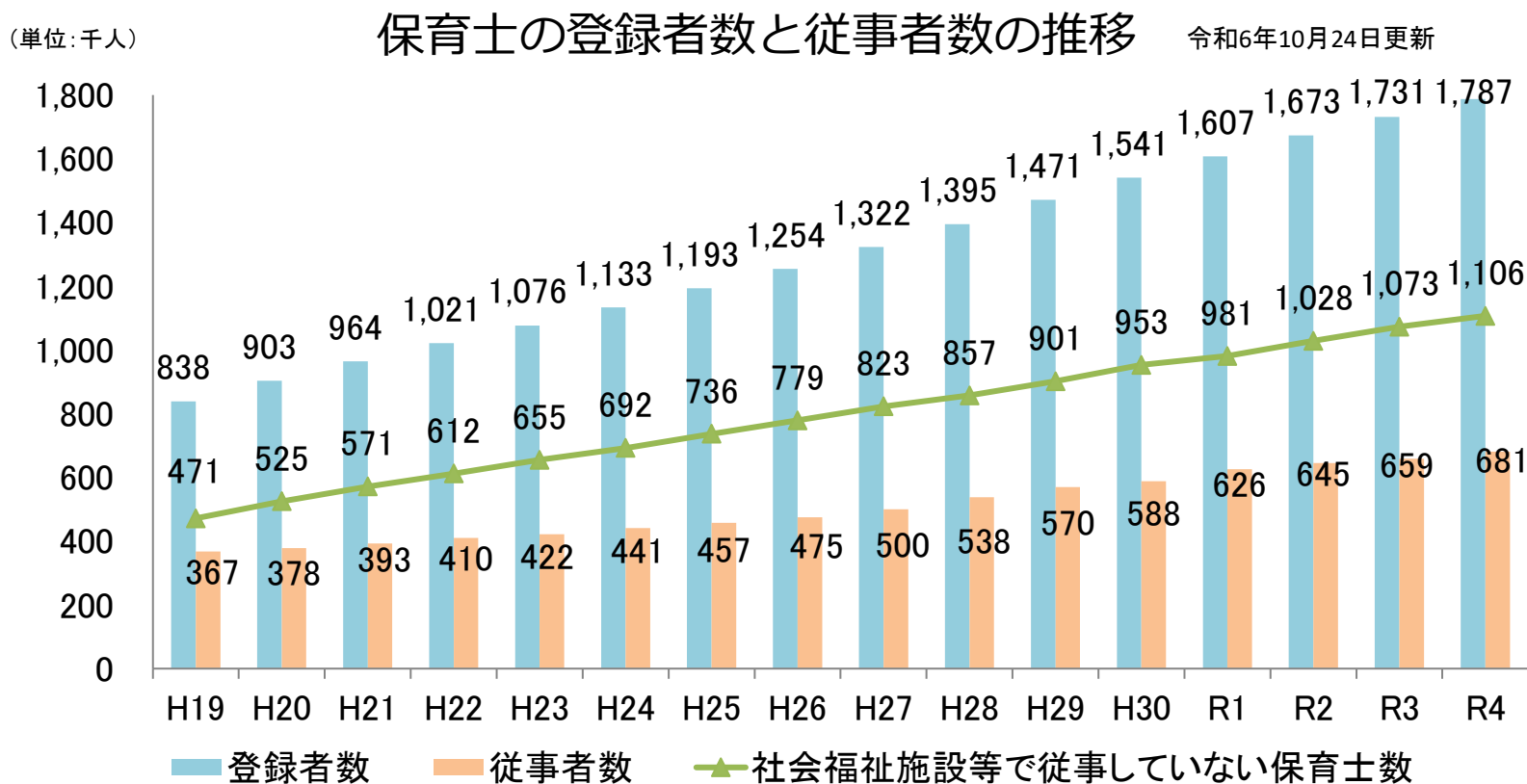
保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

令和6年11月

こども家庭庁成育局保育政策課・成育基盤企画課

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

○ 保育士登録者数は約179万人、従事者数は約68万人であり、保育士資格を持ち登録されているが、社会福祉施設等で従事していない者は111万人程度となっている。



出典：登録者数：こども家庭庁成育局成育基盤課調べ(各年10月1日)

従事者数：厚生労働省「社会福祉施設等調査」(各年10月1日)の社会福祉施設に従事する(常勤換算でない)保育士の数を元に、平成29年までは、厚生労働省(子ども家庭局)で回収率(例：保育所等の場合、平成28年の回収率：93.9%、平成29年の回収率：94.3%)の変動を踏まえ、割り戻して算出したもの。平成30年以降は、全数調査から標本調査への移行により調査結果が全施設の推計値となり、回収率での割り戻しはしていないため、平成29年以前の結果との比較には留意が必要。

※ 従事者数には、常勤保育士のほか、常勤ではない短時間勤務の保育士も1名として計上しており、保育所のほか、児童養護施設等の社会福祉施設で従事している者も含まれている。

※ H23の従事者数については、東日本大震災の影響で宮城県と福島県の28市町村で調査未実施。

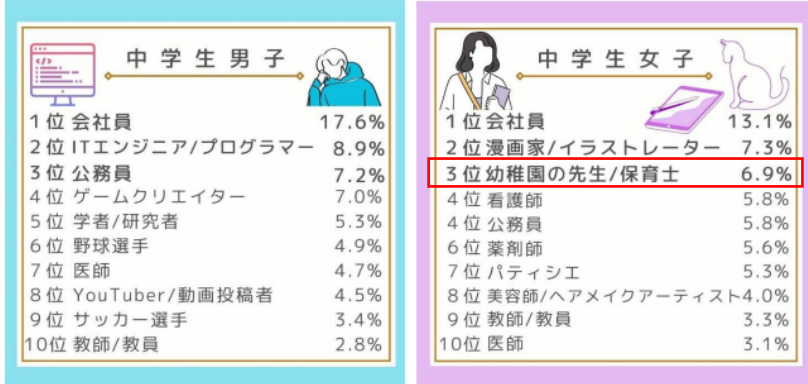
※ 社会福祉施設等で従事していない保育士数には、認可外保育施設や幼稚園に勤務する者、保育士が死亡した場合の保育士資格の喪失に係る届出を行っていない者を含む。

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

- 第一生命保険株式会社の調査によると「大人になったらなりたいものランキング」では、「幼稚園の先生／保育士」が中学生女子では3位（6.9%）にランクインしているが、高校生女子では5位（4.6%）にランクインしている。

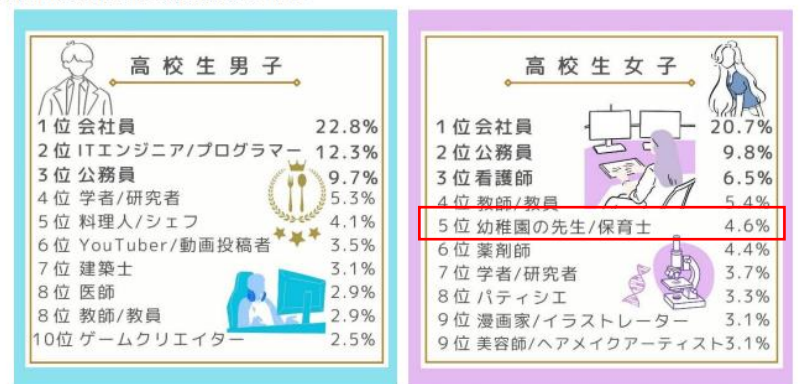
中学生

・中学生の大人になったらなりたいものランキング



高校生

・高校生の大人になったらなりたいものランキング



<第一生命保険株式会社「大人になったらなりたいもの」アンケート>（令和6年3月26日）より引用

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

- こども家庭庁においては、就業継続のための職場環境づくりなど保育現場の課題に対応するため、以下の取組を行っている。

保育士として就業した者が退職した理由として、
「職場の人間関係」「仕事量が多い」「労働時間が長い」
「給料が安い」
などの声がある。

職場の人間関係

仕事量が多い

労働時間が長い

給料が安い

【相談窓口の設置】

労務条件等の相談窓口の設置。

【ICT化・DXの推進による負担軽減】

登降園管理システム等の保育所等におけるICT化や保育DXの推進による業務負担軽減。

【保育補助者、保育支援者の配置支援】

保育士の補助を行う者や保育の周辺業務を行う者による役割分担による業務負担軽減。

【巡回による働き方改革支援】

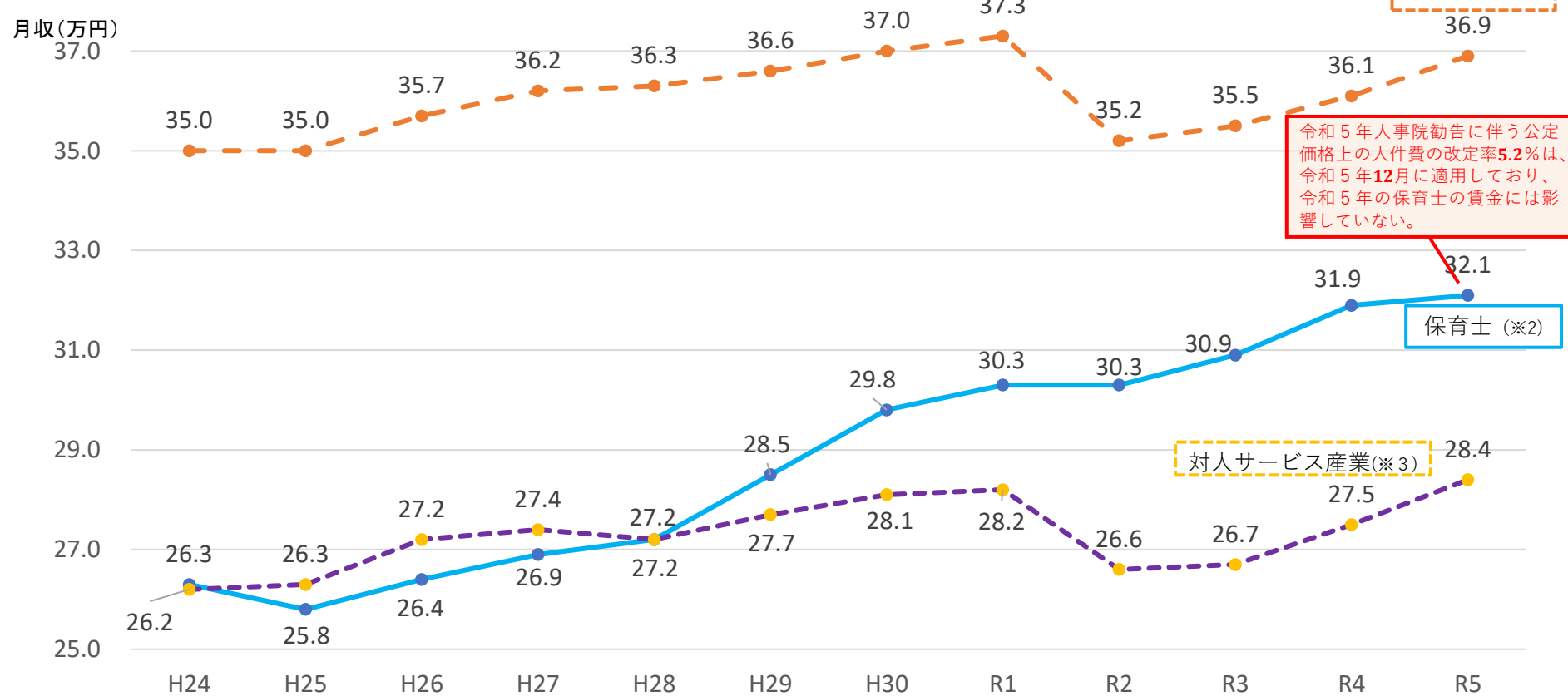
労務管理等の働き方や勤務環境の業務改革に向けた助言等の実施による労働時間の見直し。

【処遇改善の取組】

人事院勧告を踏まえた改善や累次の加算措置を実施。併せて、費用の使途の見える化の取組を実施。

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

職種別平均賃金（役職者除く）（月収換算）



資料：「賃金構造基本統計調査」（平成24年から令和5年までの各年で公表されたもの）により、こども家庭庁保育政策課で作成。

(※1)「全産業」は、産業別データの「産業計」から役職別データの「役職計」を除いて算出したもの。

(※2)「保育士」は、役職者を除いた職種別データの保育士(男女)の数値。

(※3)「対人サービス産業」は、産業別データの「宿泊業、飲食サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」を加重平均し、役職別データの「宿泊業、飲食サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」の「役職計」を除いて算出したもの。

(注1) いずれも一般労働者(短時間労働者を含まないもの)の男女で、役職者を除いた数値。

「全産業」と「対人サービス産業」は、令和元年までは100人以上の企業の役職者、令和2年からは10人以上の事業所の役職者を除いた数値。

「月収」とは、賃金構造基本統計調査における「きまって支給する現金給与額」に、「年間賞與其他特別給与額」の1/12を足した額。

「きまって支給する現金給与額」とは、労働協約又は就業規則などにあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給される現金給与額(基本給、職務手当、精皆勤手当、家族手当が含まれるほか、時間外勤務、休日出勤等超過労働給与を含む)のこと。いわゆる手取り額でなく、税込み額である。

「年間賞與其他特別給与額」とは調査前年の1年間(原則として調査前年の1月から12月までの1年間)における賞与、期末手当等特別給与額(いわゆるボーナス)をいう。

(注2) 3%程度(月額9千円)の処遇改善は、令和4年2月から実施しており、令和4年の保育士の賃金に影響している。

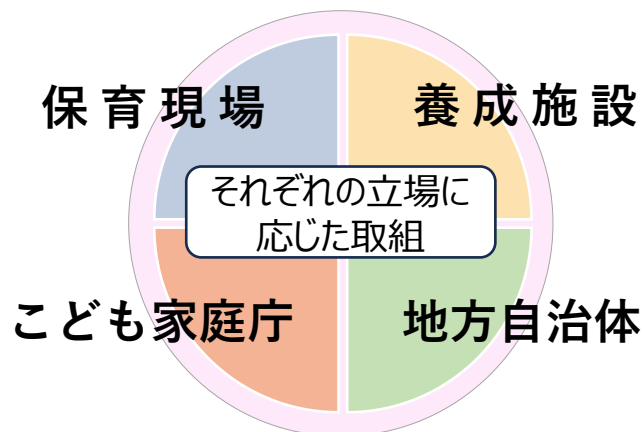
令和3年人事院勧告に伴う公定価格上の人件費の改定率▲0.9%は、令和4年4月に適用していたが、補助事業においてその減額分に対応する金額の上乗せ補助を実施していた。

令和4年人事院勧告に伴う公定価格上の人件費の改定率2.1%は、令和5年2月に適用しており、令和4年の保育士の賃金には影響していない。

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

- 保育現場、指定保育士養成施設、自治体、こども家庭庁それぞれにおいて、職場体験の提供やイベント開催、情報発信などの魅力発信に取り組んでいる。

	中高生	養成施設の学生	資格取得を目指す者	現役保育士	潜在保育士
養	中高への出張授業、オープンキャンパス等での魅力発信				
国	ポスター制作による魅力発信				
国	動画、イベントによる魅力発信				
自	これらのツールを活用したイベント開催、情報発信				
保	保育現場における職場体験等の受け入れ、合同面接・相談会の実施				
国	保育業界をあげての魅力発信に向けた懇談会の開催				



例：自治体（石川県）の取組

⇒こども家庭庁のコンテンツを活用しながら、各保育施設や保育の魅力を発信するイベントを実施。

養成施設（大分県）の取組

⇒養成施設の教員が高校に出向き、保育士魅力を伝える出前講座を実施。

保育現場の取組

⇒中高生へ魅力を伝える職場体験などの機会の提供。

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

- 正確な情報を発信することにより、進路選択にあたっての選択肢の一つとなることや、現在保育士として従事する者が就業を継続すること、一度現場から離れた者の復帰の後押しとなることを目的とする。

魅力発信プラットフォームの整備

こども家庭庁HP内に「ハローミライの保育士」を開設（令和6年3月）。

【サイト内コンテンツ例】

- ① 「保育士の一日」など、保育士に関する基本的な情報
- ② 保育現場で行われている歌や手遊びについて保育視点からの解説等に関する動画等
- ③ ガイドラインや通知等の現役保育士にも役立つ情報
- ④ 保育行政に関する施策の発信 等

Youtuber「QuizKnock（クイズノック）」
「【合格難易度S】東大卒は10日で保育士試験に合格できるのか【音楽の実技も】」

保育の仕事の魅力、専門性を広く知ってもらうことを目的とした動画の配信。



184万回再生（R6.10.25時点）

保育の魅力と専門性をイメージして作成したポスターをサイト内に掲載。

ダウンロードし、自治体や学校・保育現場にて利用していただく。



保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

【こども家庭庁の取組の様子】



令和6年8月7日・8日
「こども霞が関見学デー」
伊沢拓司氏・くまモンを迎えて、
保育士・保育の現場に関する
トークイベントを実施。



令和6年3月12日
「第1回 保育人材確保懇談会」
保育・幼児教育関係者間
で保育の魅力情報発信等
の取組について意見交換と
情報共有を行い、関係者
間の連携強化を図る。

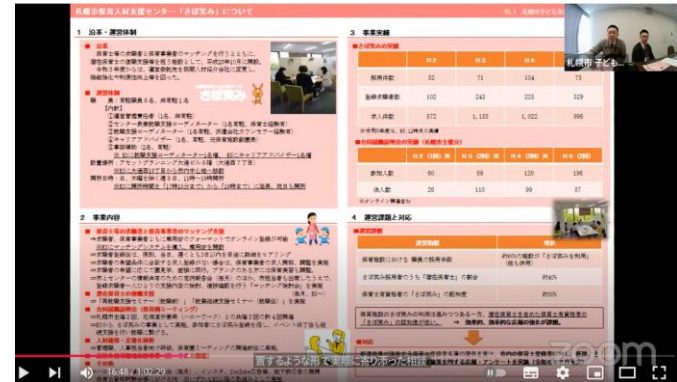


白鳥久美子氏オフィシャルブログより



令和5年度2回開催
令和6年度1回開催
「保育雑誌編集者懇談会」

雑誌編集者との意見交換の場を
設けることで保育雑誌を媒介とした
保育現場への広報の強化を図る。



令和6年1月31日
「保育士・保育所支援センター全国連絡会」(第1回)
好事例の共有・意見交換の場を提供することにより、セン
ターの機運醸成や更なる取組強化を図る。

保育士・保育の現場の魅力発信に関する取組について

- 働きやすい職場環境づくり等の施策の更なる充実を図るとともに、各層における課題に応じた魅力発信の取組を進める。

【課題】
「保育士」という進路選択にあたり、保護者や進路指導担当からの同意が得られない。

【方針】
保育士養成施設における中学校や高校との連携の実施（出張授業等）等による正確な情報の発信。

【取組】
・保育士養成施設に対する就職等促進支援事業(R7～)

【課題】
保育士・保育の現場へのネガティブなイメージ。

【方針】
継続的な職業の魅力発信、懇談会の場等による保育関係者間での連携。

【取組】
・プラットフォーム（「ハローミライの保育士」サイト）を通じた情報発信
・保育人材確保懇談会の開催

中高生

養成施設の学生
資格取得を目指す者

現役保育士

潜在保育士

職業の魅力の発信

資格取得支援

働きやすい職場環境

再就職支援

施策の充実

【課題】
現役保育士や求職者へ保育に関する情報が届いていない。
（他の職種と比較して保育士の有効求人倍率が高く推移している状況）

【方針】
保育士・保育所支援センターの機能強化、事業者や自治体が行う魅力発信の取組を促進。

【取組】
・保育士・保育所支援センターの法改正による機能強化
・調査研究に基づく取組事例等の共有
・自治体の取組支援（保育士・保育の現場の魅力発信事業）

こども家庭庁

資格取得の支援、ICT化の推進等による働きやすい職場環境づくりや配置基準の改善、処遇改善等の取組等